

高校生活と真ん中！ 残りの日々をどう過ごす？

さて、高校2年生2学期が始まった。長い夏休みから、通常の学校生活を送れるように生活を戻して行ってほしいが、「気の引き締め」を今まで以上にしてもらいたいと思う。

- ①「勉強」では、明日の課題テストを初め、授業内容が一層濃くなっていくので、置いて行かれることのないよう、必死になって喰らいついてほしい。（「提出物がまだ終わっていない」、「赤点さえとらなければよい」といった志の低い思いを持たないように。）
- ②「部活動」では、所属している部活動にもよるが、2年生が中心となって引っ張っていく時期になった。今まで先輩たちが築き上げてきた形を、みんなの代ではどのようにしていくのか、実践して行ってほしい。部活動で培ってきた行いは、社会に出てからも本当に役立つ経験となる。
- ③そして、今学期からは、「今後を見据えた行動」をとれる人になってほしい。夏休みの三者面談で、担任の先生と今後の進路について話し合ったと思うが、「いつまでに何をしておかなければならないのか」という先読みをした上で行動をとれるようにしてほしい。今の3年生は、9月4日（月）に「共通テストの出願」指導を受け、10月初めまでに出願する。（ということは、この段階までにどの科目で受験するのか、力をつけながら決めておかなければいけないということだ。）9月5日（火）からは「就職の出願」が始まる。（ということは、3年1学期までの成績や実績が関わってくるということだ。8月に誰がどこの企業を受けるかの会議が行われるが、僅差で負けても、自業自得なのだ。）また、大学進学希望の人たちは、3年の2学期からは2週間に1回くらいのペースで模試を受けることになる。なかなか思うように成績が伸びず、落ち込みやすい時期であり、精神状態を保つのに精一杯になりやすい。簡単にはへこたれない雑草魂を持ってほしい。

高校2年の2学期からは、時間が過ぎるのがものすごく早い。私自身の経験からもそうであり、今までの生徒からも何度も聞いた言葉である。その中で、「ただその日暮らして楽しければいいやで過ごす」のか、「やるべきことに向き合って1日1日を大切に過ごす」のか、その過程が結果に繋がるということ、今一度じっくりと考えて、行動してほしい。

2年7月の進研模試の結果が返ってきた！ 今までと何が違う？

既に、ベネッセマナビジョンのデジタルサービスで模試結果は出ているが、紙ベースの『個人成績表』を見て、「結果を分析する」だけでなく、「どのように受け止めたらいのか？」という感覚を身に付けてほしい。

- ①まずはおもて面の<STEP1 今回の成績>で、自分はどの位置にいるのか、以下を把握してほしい。
「国数英300点満点中、何点をとったのか」… 今回の平均点は、100.3点。
「国語、数学、英語、100点満点中、それぞれ何点をとったのか」
… 今回の平均点は、国語39.7点、数学(Bタイプ)31.4点、英語31.9点。
「3教科、各科目の全国偏差値はいくつか」… 当然50が全国の中央の位置。
「3教科、各科目のGTZ(学習到達ゾーン)の判定は何か」
… 上から、S1(最難関大レベル)→S2→S3(難関大レベル)→A1(難関大可能レベル)→A2→A3(国公立大・中堅私立大レベル)→B1→B2→B3(国公立大・中堅私立大可能レベル)→C1→C2(4年制大可能レベル)→C3(実力養成レベル)→D1→D2(基礎力養成レベル)→D3(基礎・基本養成レベル)の15段階ある。よく「静岡大学へ行きたければ、A3~B1を目指しなさい」と言われる。
- ②次に<STEP2-1 教科バランスと成績推移>や上の方の<!ここから復習>で、復習すべき教科を決めてほしい。
左側のレーダーチャート … レ点がついている教科は何か
右側の折れ線グラフ … 大幅に上がったUP(自分を褒めてあげよう)や大幅に下がったDOWNの教科は何か
→ 得意教科よりも、苦手教科で点数UPを図る方が、大幅な点数UPが見込める。それが最短の近道だ!

③そして裏面の今回からの大きな目玉である<STEP2-2 志望校成績>で、今は何判定か、どのように受け止めたらいいいのか、よく読んでほしい。

右側の方に、<判定の説明>が書かれており、今回の判定で

コード不備 … 大学コード全体が正しく記入されていませんでした。

学科不備 … 大学コードの学科部分が正しく記入されていなかったため、学部まで判定を出しています。

教科不足 … 判定に必要な教科が受験されていなかったため、受験された教科で判定しています。

と書かれていた人は、よくよく反省してほしい。せっかくの判定の機会を自らのミスでなくしてしまったということだ。

そして、A … このまま継続して勉強に取り組もう。B … 教科バランスを意識して学習を続けよう。C … 弱点教科対策に取り組もう。D … 教科書のわからないところをマスターしよう。E … 教科書のわからないところに印をつけよう。と書かれているが、これはかなり曖昧な表現である。今後のために、以下のように理解してほしい。

A … 合格可能性80%程度。B … 合格可能性65%程度。C … 合格可能性50%程度。

D … 合格可能性35%程度。E … 合格可能性20%以下。

とはいえ、決して勘違いしないでほしいことがある。例えば、「今回●●大学でA判定がついているから、もう今の時点で合格可能性80%だ!」では決してない!!!ベネッセが過去の受験生で●●大学に合格した生徒のデータを集計したところ、今の時点(=2年7月)ではこのくらいの点数であった」という逆算、すなわちあくまで見込みで判定しているのだ!!!だから、今がA判定だったからといって、このまま大した努力もせず、成績が横ばいのままであれば、あつという間にE判定まで落ちぶれてしまうのだ!!!

また、「今の時点でE判定だったからといって、もう諦めなさい」という意味では決してない!!!データをよく見ると、「あと▲▲点で■(判定)」と書かれている。判定にも、惜しくも■判定なのか、どん底■判定なのか、その位置を見極めないといけない。これから先の模試で、少しずつでも良いから、判定が上がるように努力していけば良いのだ。参考までに伝えておくと、3年の9月の模試で、第1志望校にD判定(すなわちE判定ではない)がついていれば、受験本番までの残りの日々に勉強し続ければ、合格可能性は見えてくる!!!一喜一憂せずに、先を見据えて頑張ろう!

④さあ、やることは分かったはずだ。②の最後の行にも似たことを書いたが、得意分野よりも、苦手分野で点数UPを図る方が、大幅な点数UPが見込める。それが最短の近道だ!<STEP3 設問別成績>には、横に伸びた棒グラフが◇まで届いていない場合、そこが苦手分野(=落とし穴)となる。まずはその分野の復習に力を入れよう!欄外には「あと▲点でひとつ上のGTZ■■に到達 解答解説の??ページから取り組もう!」と御丁寧に書かれている。やらないままでは点数UPは図れない。それなのに「推薦もらえますか?」なんてたわけたことを言わないでほしい。さあ、やるのだ!!!

先生方からのメッセージ「最初の一步目」

～理科 加藤稜涼先生より～

何事も最初の一步目が一番難しく重たいと感じています。私の人生の24年間でもそのように感じる事が多々ありました。高校に入る際、中学でやっていたテニスをやめてバドミントン部に入部したこと、沖縄の大学に進学したこと(もちろんここには一人暮らしや、行ったことのない土地・環境で一人、四年間生活することも含まれている)、ダイビングを始めたこと、教員採用試験の面接シートを書き始めることなど。大きいものから小さいものまでたくさんの一步を踏み出してきました。その中でも大学受験のための勉強をするという一步は私にとってとてつもなく重たいと思っています。友人たちと遊びまくっていた日々から、勉強漬けの毎日は想像しただけでも嫌になった記憶があります。私がある時踏み出した理由は、当時担任だった先生に(その先生に憧れて教員を目指すことになった)本気で怒られたから仕方なくでした。今思うと情けないですが、夏休みの勉強時間がクラスで最下位、朝課外にも出席しない、それは怒られますね。やる気がないのか、みんな頑張っているのに足並みを乱すようなことはやめろと。そこから仕方なく勉強し始めました。そこで勉強していなければ今私は受験に失敗し、間違いなくここにはいません。あの時一步目を踏み出してよかったと心の底から思います。

みなさんは何かに挑戦して後悔したことはありますか?たとえ失敗したとしてもやらなければよかったと思うことのほうが少ないはずです。勉強でも勉強以外のどんな小さなことでもまずは小さく一步踏み出してみてください。

そこからは流れに乗るだけです。頑張りましょう!